

2025年9月29日

公開質問状 ③

松山市長 野志克仁 様

熱海土石流原因究明プロジェクトチーム

清水 浩

〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

shimizu@cim-tech.jp

拝啓 清秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

渡部克彦議員の3月議会での質問及び松山市の回答で下記の記録を確認しました。

渡部克彦議員

脆弱な斜面に重量式擁壁を乗せるという、それは分かっていたはずですが、それが分かってなかったか、分かっていなかったか、軟弱な地盤、脆弱な地盤であったかなかったかというところは確認はできておりますか。

鷲谷浩三開発建築部長

擁壁荷重による地盤の沈下については、2023年の道路擁壁沿いで実施した簡易貫入試験結果を踏まえて沈下計算を行った結果、推定する擁壁の自重による即時沈下量は1センチ以下と推定されております。これは第3回の技術検討委員会の資料としても出しております。以上です。

上記、内容について松山市の重力式擁壁設置個所の現地盤の評価は、第3回の技術検討委員会の資料の即時沈下の推定値を元に安全性を確認したと認識しております。

記

以下の点につきまして明示いただきたく公開質問状として提出させていただきます。

ご質問

1. 即時沈下 1 センチ以下が問題ないとする根拠。
(例：住宅の品質確保の促進等に関する法律第 70 条：剛体傾斜時の傾斜角等)
2. 重力式擁壁 H=2.0m における許容値

公開の扱い

本質問状およびご回答内容につきましては、地域住民の安全・安心に資するため、適切に公開させていただきます。

回答期限：誠に恐縮ではございますが、2025年10月10日までに
ご回答を賜りますようお願い申し上げます。

以上、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、住民にとって重要な関心事でございますので、明確なご回答を賜りますようお願い申し上げます。

敬具